

Title	新撰俳諧年表, 平林鳳二, 大西一外著
Sub Title	
Author	武田, 勝藏(Takeda, Katsuzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1924
Jtitle	史学 Vol.3, No.2 (1924. 8) ,p.177(338)- 177(338)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19240800-0178

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

の承安五年の國宣以下十數の古文書寫眞を掲げ、卷末には須々神社略圖一枚を附しておる。次に本文の目次をかゝげる。

一社號、二鎮座地、三社格、四創建、五祭神、六宮寺、七社領八造營、九神職家、十祭祀、十一氏子及び崇敬者、十二附記(寶物等)

右の十二項にして、猶同社古文書集、緣起、鐘閣を附錄として居る。右の古文書集には承安五年二月廿八日の國宣、文治二年八月日解狀以下七十一の古文書を記載しておるが、こは同社の神威と尊敬を語る貴重なる資料である。最近各地神社の其社誌等を編纂せらるゝやうになつた事は我等の常に喜んでおる處である。

(大正十三年五月十日 武田勝藏)

新選俳諧年表(平林鳳二著)

本書は文龜元年より大正十二年に至る四百十三年間に於ける著名の俳人七千餘名の傳記事蹟其他の事柄を年次的に摘拾略記したものである。猶沒年の詳かならざるはいは別として、俳家人名錄と題しこれを巻尾に一括してある。俳人は勿論歴史家文學者の座右に備ふべきものである。

(大正十三年二月廿一日武田勝藏)

米國近世史(木村重治譯)

ある國とその國民とを理解せんがための捷徑はその國の歴史を研究するを以て第一となすべきである。我國とアメリカ合衆國さ

の關係は年代から云へば左程古いものではないが、これによつて兩國が蒙りたる影響は甚大である。然も密接なる關係を有する兩國民が如何なる程度まで互によく理解し會てゐるかは甚しき疑問である。米國人の多くは未だに日本を詩の國夢の國と考へ或は日本人を野蠻人視し軍國主義的侵略的國民と考へてゐる。而して一方日本人に於ても亦米國の國民性や米國の政治組織や産業等に對して充分なる理解を有するものが稀少である。斯の如き現状に在つては兩國民の間に完全なる友宜を増進することは到底不可能と云はなければならない。合衆國は既に排日法を制定して向後日本移民の入國を禁止したがため、これによつて最早兩國の間に從來の如き密接なる關係は斷絶したと考へてはならぬ、寧ろ兩國の國交は今後益々多事にして更に一層重大なる關係を生ずるに至るに相違ない。然るに我國內には米國史を研究し米國の國情を眞によく理解してゐるものゝ少いのは一個の不可思議と云はなければならぬ。かかる時に際して本書が譯出せられたのは最も意義あることとして深く喜ばざるを得ないのである。

著者は序文に於て「本書の目的は現代の我國を知らんと欲する讀者の要求を充すことにある。故に余は特に社會及產業の問題に就て詳述したされどまた其の方面にのみ偏することながらんことに注意した」とて政治史にも重きを置きたる旨を述べてゐる如く本書は南北戰爭終結後の政治社會の狀態より筆を起し巴里講和會議に至る約半世紀間の米國史の諸相を叙述的に書いたものである。